

りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修 2022

～公共ホールは【総合力】が大事！？～

1. 対象 大学生、公共ホール・劇場職員で業務経験がおおむね5年未満の方
2. 開催期日 2022年8月23日（火）12:30～8月26日（金）12:00
3. 開催場所 りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館
4. 参加費用 大学生：無料 社会人：10,000円
※参加費以外の経費（交通費・宿泊費・食費等）は個人負担です。
5. 定員 6人程度
6. 募集期間 2022年5月16日（月）～7月15日（金）
※ただし、定員に達した段階で締め切ります。
7. 申込方法 以下のGoogleフォームかメールでお申し込みください。



りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修
参加申込み QR コード

メール申込みの場合は、次の事項を送信してください。（メール送信先：りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館事業企画部 榎本広樹 h-enomoto@ryutopia.or.jp）

【①氏名、②住所、③連絡先（電話、メールアドレス）、④年齢、⑤所属（学校名、学部、学科、学年あるいは会館名）、⑥自分以外の緊急連絡先、⑦この研修に参加しようと思った理由、⑧この研修で何を知りたいか】

8. カリキュラム内容

- ①公共ホール概論/歴史と社会的役割の変化をたどったあと、活発な運営がなかなか実現しない原因を探ります。
- ②りゅーとぴあ概論/りゅーとぴあの施設機能、やってきたことを「公共ホール概論」で触れた点と対比して考えます。
- ③公共ホール、現場の声 / 一口に公共ホールと言っても、その中の実務・提供すべき社会サービスは多岐にわたります。それぞれのサービスの現場を担っている人から、生の声を聞きます。
- ④新しい時代のPR/時代が変わる中で、単なる「商品セールス」に終わらないPRについて考えます。
- ⑤現場で考える、「企画する」ということ/りゅーとぴあ音楽事業で特徴的ないくつかの企画に焦点をあて、深掘りします。また、現場ですぐに役に立つノウハウも少しだけ体験！

9. 問い合わせ先

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館事業企画部 榎本広樹

h-enomoto@ryutopia.or.jp

電話：025-224-5614 FAX：025-224-5626

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2（白山公園内）

ここが特徴！ りゅーとびあ音楽アーツ・マネジメント研修

① 「新潟市」と「りゅーとびあ」を知ることで、「地域」と「公共ホール」の関係が見えてくる！

3つの専門ホール（コンサートホール・劇場・能楽堂）の集合体であるりゅーとびあ。なぜこのようになったのかを見ていくと、我が国の公共ホールの歴史を踏まえた一つの結果であることがわかります。また、りゅーとびあの現在の運営からは、施設面だけでなくソフト面や組織の部分でもさまざまな工夫が発見できます（もちろん課題も）。ありていに言うと、りゅーとびあを通じて【公共ホールの現場の実態をご覧あれ】、ということです。

② 公共ホールのさまざまな側面を知ることで、公共ホールのミッションと可能性が立体的に見えてくる！

公共ホールは、単なる静的な建物ではありません。実は、さまざまな文化サービスを日常的に地域に提供している「文化機関」です。そのさまざまなサービスの現場で働いている人が何を考え、何を目指し、どんなサービスを提供しているのか、そして何を感じているのかを直接聞いてみましょう。そうすることで、【公共ホールのあり方・ミッションとその可能性】が立体的・具体的に見えてくることでしょう。

③ チケットセールス作戦の前に、公共ホールは「共感」を得る場所ではなくちゃ。

時代が大きく変わっていく中で、最適なPR手法も変わっていきます。必要な人に必要な情報を伝え、行動を促していくには、今、何が大切なのでしょう。実はお客様の「チケットを買う」という行動の前に、満たされなければならない条件があり、その条件達成のために行うべき作戦があります。キーワードは「共感」です。りゅーとびあの実践も踏まえて【共感を得るために何ができるか】を考えてみましょう。

④ 新潟の美味しいものを食べることで、地方の魅力が見えてくる！

日本海に面した新潟市は海の幸に恵まれ、また広大な新潟平野ではおいしい米と多様な味わいを楽しむことができる日本酒など、多くの特産品があります。もちろんそれを楽しんでほしいのですが、そこから「地域の魅力」というものに思いを馳せてください。

新潟の魅力を知ることで、皆さんのふるさとや今後赴かれる【地域の魅力を発見する視力】を養っていただく。それはきっとこの先、皆様がどこで仕事をするようになって、皆様の武器になる、と考えています。

と言いつつ、実際には、「新潟にいる間にどうぞたくさん美味しいものを召し上がってください」ということです。

過去の参加者の声

振り返ると、休憩の10分でさえ足りないほど内容が凝縮された研修に、再び新潟に研修を受けに行きたい気持ちで胸一杯です。帰宅してから濃い4日間をもう一度頭の中で咀嚼しているのですが、既にこれからチャレンジしてみたい事が次々に出てきます。

施設の広さ・お金の面・スタッフの人数など、そういう面で「りゅーとびあだから出来る事」と捉える人は多いかもしれませんが、しかしそうではなく、4日間色んな人のお話を聞くと、りゅーとびあという場所で、個人個人の「挑戦心」が圧倒的に強く高く、また良いチームワークこそが、自主事業を通じて地域の繋がりと活性化や、ホールを訪れるアーティストが次も来館したいと思わせる理由なのだと感じました。

今回学んだ事を生かし、その土地その時に何が出来るのか、私がこれからやってみたい事、それを実現するための調査やとにかく行動してみる事、それが次々へと繋がるようにしっかりと考えていきたいです。

(公共ホールスタッフ)

この4日間の研修で心に決めたことがあります。それは、将来アートマネジメントの世界で活躍すること・りゅーとびあのような素敵な職場で働く（素敵な職場にする）ことです。

今回様々な部署の方とお話する機会があったことが非常によかったです。どの部署の方もそれぞれの仕事に誇りを持ち「手前味噌」を乱発しつつも（とっても好きです）、「まだまだこれから」をしっかりと考えていらっしゃいました。職員の方の自信・自負と反省・意欲が相乗効果を生み出し、職場が非常に生き活きとしていることを感じました。だからこそ音楽教室の子供たちやアーティスト、お客様などを惹きつけ、成長させるのだと感じました。

素敵な仲間と出会えたことも大きな収穫でした。三者三様の参加者がお互いに良い刺激を与え合い、想いを共有し共に考えることができました。

(大学3年)